

## 4か年で222両を導入します

環境配慮型の

みんなECO.  
(東京メトロ・エコプロジェクト)

## 銀座線新型1000系車両を6月より追加導入します

さらに、注目のSiCを採用した補助電源装置を世界で初めて本格導入します

東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：奥 義光）では、お客様にご好評いただいている銀座線新型1000系を平成25年6月より順次追加導入します。

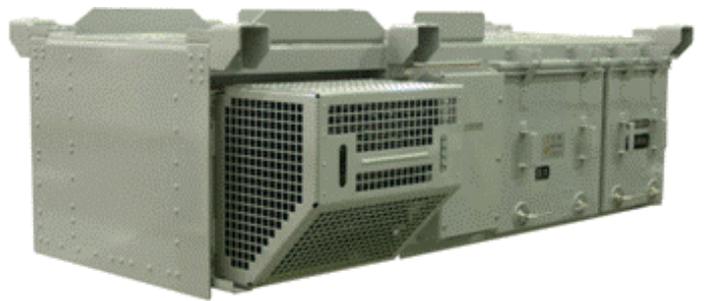
この車両は平成24年4月に運行を開始した第1編成に引き続き導入されるもので、平成25年度には11編成66両を導入し、平成28年度までに銀座線車両を全て1000系車両に置き換えます。

銀座線1000系車両は、騒音・振動の少ない操舵台車や従来より消費電力量の少ない永久磁石同期モーター（PMSM）、LED照明などを採用し、環境負荷低減を実現した車両です。さらに今回導入する車両では、車内空調装置や照明などに使われる電力を供給する補助電源装置に世界で初めてSiC（シリコンカーバイド）半導体素子を使い、装置の小型・軽量化、省電力化、低騒音化を図っています。

東京メトロは、これからも人と環境にやさしい車両を導入してまいります。



銀座線1000系 第1編成



SiC半導体を採用した1000系用補助電源装置

## SiC（シリコンカーバイド）半導体について

今日、世界で幅広く使われている電力用半導体はSi（シリコン）を素材としたものが主流ですが、Si半導体の大幅な性能向上は難しくなっているといわれています。そうした中で、半導体の性能向上のために注目を集めている素材のひとつに、SiC（シリコンカーバイド）があります。

SiC半導体を鉄道車両に採用しますと、電力ロス軽減による省エネ化や、装置の大幅な小型・軽量化ができるメリットがあります。